

第1回 令和4年度射水市観光振興計画推進会議 議事録

- 1 開催日時：令和4年7月7日（木）13:30～14:45
 - 2 開催場所：クロスベイ新湊2階 iCN ホール
 - 3 出席者
 - (1) 推進委員
齋藤会長、牛塚副会長、明石委員、春日委員、久々委員、篠田委員、砂原委員
瀧田委員、玉井委員、釣谷委員、西本委員、大藤委員、田中委員
 - (2) オブザーバー
富山県地方創生局観光振興室観光戦略課長
 - (3) 事務局
産業経済部長、産業経済部次長、観光・定住課長、観光振興係員
 - (4) 委託業者
㈱計画情報研究所
 - (5) 欠席者
紅粉委員、斉藤委員（溝畑氏代理出席）
-

会議次第

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 議事
 - (1) 射水市観光振興計画の実績報告について
 - (2) 第2次射水市観光振興計画の策定について
- 4 その他
- 5 閉会

■議事

(1) 射水市観光振興計画の実績報告について

(委員からの意見なし)

(2) 第2次射水市観光振興計画の策定について

(委員) 資料3のアンケート調査について、7月30日の日時は花火大会の集客の多い日を選んで設定しているのか。

(事務局) 花火大会は7月31日であり、調査はその前日である。

(委員) サンプルは各箇所でも100を目標としているが、このような調査は初めてか。

(事務局) 現計画策定時の5年前にも同様の調査を実施した。

(委員) 対象者が県内客か県外客かは把握できると思うが、例えば県外客が少ないなど、県内や市内の人にサンプルが偏るということはないのか。

(事務局) まず住まいを聞き、市民であれば調査をしないということは可能。できるだけ射水市外の方を対象に調査をしたい。調査内容に居住地の設問があり、市内か市外か選択することができ、集計する際に市外と市内を分けて分析することはできる。

(委員) このアンケート調査は議論のベースになるアンケートとなるため、一般の観光客や事業者の方だけでなく、例えば移住者に対して、移住の動機などの具体的な事例を聞き取りやブレストで意見を聞くことで、気付かないところに眠っているお宝を発見できる可能性がある。

(事務局) 今回、ワークショップを実施する予定であり、そこで移住者に対して意見を聞くことは可能である。

(委員) アンケート調査の日時は7月30日、予備日を8月13日に設定しているが、天候等により予備日を設けているのか。また、調査場所案を4か所挙げているが、選定の意図を知りたい。旅行会社ヒアリングの対象は具体的にどのような部署を考えているのか。店頭職員よりも商品を企画している方を対象にしてみたい。

(事務局) 調査は7月30日に天候によらずに実施する予定であり、予備日にはサンプル数が少なかった場合に追加で実施する予定である。調査場所の選定の意図は、現計画策定時のアンケート調査では3箇所を選定しており、同じ調査場所にすることで違いを把握し

たいため継続して選定している。追加した「川の駅新湊」は、内川地区を強化したいという意図から、内川地区の調査場所として新たに設けた。ヒアリング調査の対象者は、旅行会社の北陸担当の商品造成の担当者を対象としたい。

(委員) 観光関連事業者等ワークショップについて7月中旬から下旬という実施時期では、これから調整となると時間が短い。対象者に観光施設、宿泊施設とあるが、1回だけ話を聞き意見を出してもらうのか、シリーズで回を重ねるごとに話を深めていくものをイメージしているのかを詳しく伺いたい。

(事務局) 日程はこれから調整する。今回の想定では1回だけ話をする機会を設けることを想定している。

(委員) 資料2の現況分析9ページ「射水市を取り巻く環境の変化」について、もう少し細かい環境の変化がないと具体的なイメージが膨らまない。例えば、受け皿となる施設や商業施設の計画が予定されていることなど状況の変化が欲しい。

(事務局) 本日の資料は全国的な環境の変化を踏まえた記載となっているが、第2回の会議の前に、例えばホテルやオリバースポーツフィールド射水の開設や、道の駅周辺のサウンディングや基本構想のこと、新湊地区まちづくり協議会の取組などを紹介したい。

(委員) 大手旅行会社へのヒアリングは、近場の旅行業者を使っただけのよう考えていただきたい。地元の業者を使っただくことで内川や射水市の開発ができると思われる。

(事務局) 旅行会社ヒアリングは、射水市を知っていただく意味合いで県外の旅行会社の想定である。当然、県内の事業者に対してはこちらから売り込みをして連携していきたい。

(委員) 観光振興計画を策定するための会議であるため、これ以上のアンケートを実施した方がよいとは言わないが観光客のニーズ把握について気になる点がある。定点で実施する調査は大事ではあるが、それ以外に利用者のニーズをつかむような調査を検討いただきたい。場所や時間だけでなく、細やかな個人でやっているような情報を集めないとなげ落ちるニーズがあると感じる。

(事務局) ぜひそのような方々にお聞きしたいが、どのように聞けばよいと考えるか。

(委員) 例えば、アンケート用紙を観光事業者に渡し回収してもらい、意見を市にあげてもらうよう、協力を個別にお願いします。10、20件集められれば、具体的な事例が見えてくると思う。今回の大きな調査場所で聞いて出てくる回答とは違い、お店との関係性も含め深いニーズが聞けると思う。

(委員) お店の人にアンケート調査票を渡し、聞ける時に聞いてくださいとするとよい。お店の人もこれをきっかけに話をすることもある。ノルマが多くないようなものが望ましい。

(会長) その他のご意見やご質問が無ければ、出た意見を計画策定に活かしたい。

(事務局) 本日はアンケート中心の議論となった。観光に来ていただくことはもちろんだが、まず知っていただき、来ていただいて、住むようなところまで持って行きたい。当然、来ていただくだけでなく、お金を落とさせていただくためには、どのようなことが必要かを考えていきたい。